

説明会報告【要点筆記】

会議名称	令和6年度部活動の地域移行に関わる説明会
開催日時	令和7年1月15日(水) 18:30~20:00
開催場所	置賜総合文化センターホール
出席者	山形県教育局学校体育保健課 部活動改革担当 佐藤 悠介 氏 米沢市剣道連盟 副会長 徳間 健 氏 市民26名(事前申込者) NHK 記者 NCV 記者 山形新聞記者
欠席者	市民2名(事前申込者)
事務局	米沢市教育委員会 教育総務課長 石黒 龍実 米沢市教育委員会 スポーツ課長 富取 桂樹 米沢市教育委員会 社会教育文化課長 高橋 稔 米沢市教育委員会 学校教育課長 五ノ井智子 米沢市教育委員会 教育総務課 主査 須賀 潤 米沢市教育委員会 スポーツ課長補佐 伊藤 康弘 米沢市教育委員会 社会教育文化課長補佐 平山 由紀子 米沢市教育委員会 学校教育課 指導主事 石黒 修平 米沢市教育委員会 学校教育課 指導主事 青柳 開 米沢市教育委員会 部活動コーディネーター 佐竹 弘之
会議次第	1 開会 2 委員会あいさつ 3 講師紹介 4 国・県における部活動改革の方針について 5 米沢市における部活動の地域移行の現状について 6 令和6年度実証事業委託クラブより 7 質疑応答 8 閉会
資料	次第
内容	
<p>【1 開会】青柳 開 指導主事</p> <p>【2 委員会あいさつ】五ノ井課長</p> <p>【3 講師紹介】五ノ井課長</p> <p>【4 国・県における部活動改革の方針について】 山形県教育局学校体育保健課 部活動改革担当 佐藤 悠介 氏</p>	

【5 米沢市における部活動の地域移行の現状について】

米沢市教育委員会 学校教育課 石黒 修平 指導主事

(資料「米沢市 部活動の地域移行に関わる説明会」に沿って説明)

【6 令和6年度実証事業委託クラブより】

米沢市剣道連盟 副会長 徳間 健 氏

(資料なし)

1 実証事業の概要について

- ・R6.2にワーキング会議にて部活動の今後の説明と取り組みの打診があった
- ・剣道連盟では前向きに検討し、地域クラブを立ち上げた
- ・実証事業は4中体育館、7中体育館、八幡原体育館で計3回開催し、指導者は9名
- ・初級、中級、上級グループに分けて指導した

2 参加した子どもの反応

- ・足の使い方など基本を教えてもらった
- ・自分で考えることの大切さを教えていただいた
- ・上級者と初心者で分けてもらえたことが良かった
- ・知らない技も知ることができた
- ・大勢で稽古できた
- ・たくさんの先生に教えていただいて課題を見つけることができた
- ・任意の参加型なので都合があったとき休みやすい
- ・具体的な技を教えて欲しい 等々

3 実証事業を実施して感じたこと

- ・グループ分けして指導したことで関心意欲を高めることができた
- ・地域クラブは、様々な熟練度の生徒の指導ができ、向上の可能性が高い
- ・未経験の顧問の負担を軽減できるのではないかと

4 来年度へ向けた取り組み

- ・実施期間は通年月2回の実施で、期日を年度当初に確定し、担当指導者も特定したい
- ・会場も早期に確保したい
- ・目標、指導計画などを策定する
- ・指導者間の申し送りを充実し、一貫性のある指導を行う
- ・子ども達への安全配慮等に十分確認しながら、個々の生徒のニーズに応える

5 実施しての課題

- ・指導者と生徒の確保
- ・必要な会場、備品、道具等の確保
- ・費用について、補助金なしで必要経費を賄うのは困難
- ・部活と地域クラブに活動が分かれることで指導の一貫性が図られるか
- ・大会の参加のあり方が不透明であること

6 実証事業を実施して、剣道連盟としての思い

- ・実証事業、地域移行について前向きに考えていきたい
- ・剣道の楽しさを一人でも多くの子供達に味わってもらいたい
- ・剣道は、人間形成の道であるので、生涯の糧にして欲しい

【7 質疑応答】

- 参加者 自分の子供は休日の活動と平日の部活は違う種目にしようかなどという話をしていた。子供にチャンスを与えるという部分ではいいなとも思ったが、土日の大会に出ないということもあり得ると思う。大会がどのようになっていくのか、決まったことはあれば教えて欲しい。練習も必要だが、経験値を上げるには大会がいいと思うので、大会に関して何か情報があつたら教えていただきたい。
- 県担当者 大会は中体連が主催している大会は年1回、新人戦を入れると年2回あり、それ以外は競技団体が主催している。結論から言うと主催者が決めているということになる。中体連大会では、要件を満たせば地域クラブも参加できるという方針になっている。競技団体が主催するものは競技団体毎に異なる。平日部活動の中学校から大会に出るのかクラブとして出るかは個人で判断することになる。部活動として出場するかどうかは学校長や顧問の考えのもよるが、参加自体は要件を満たせば可能になる。
- 参加者 中体連主催の大会としては残るという認識でいいのか。令和8年度以降も開催されるという認識でいいか。
- 県担当者 全国中体連は令和9年度以降何個かなくなる種目があると示している。大会の形とか参加要件については、状況にあった形、どうやったら子供達によりいいかを県中体連の皆さんが今、考えている。
- 参加者 一番の課題は、少年団は活動場所が取れない。米沢市としては、スマートの(予約)システムを全校全施設に設置することができるか。
- 事務局 学校施設について、DX化という考え方で全校に広めていきたいと考えている。コスト・経費はかかるけれども、方向性としては導入していく考えである。
- 参加者 平日の部活動について、各学校で成立できない部もあると聞いた。平日も他の学校と合同でやることは可能なのか。そういうことがあるのかについて聞きたい。
- 事務局 現時点では、平日に学校間移動してというのは考えていない。学校が統合していくが、統合後の部活動の設置については、今後学校毎に検討していくことになる。
- 事務局 今後ご質問ご意見などありましたら、本日お配りした次第の下の方にお問合せ先がありますので、そちらにご連絡いただきたい。また、今後については、便りやHPなどで情報を発信していく。ぜひそちらも合わせて確認していただきたい。

【8 閉会】青柳 開 指導主事